

2023年1月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.149

12月議会 市民アンケートに基づいて じゅんさい池のベンチ改修など質問

12月14日、一般質問を行いました。○「市民アンケート」の要望から公園・緑地について、○市民からの問合せのあった図書館利用券について、○施政方針のデジタル地域通貨について、質問しました。

じゅんさい池緑地について

行うように考えている。

里見公園について

◎壊れたベンチの改修

答弁 42基あるベンチのうち、8基が老朽化により破損している。今年度中には修繕を行う予定である。

◎東屋へのスロープの設置

答弁 2方向とも階段になっており、車椅子やベビーカーでは段差があり、利用は難しい。今後は、段差をなくす改修を

◎展望台の整備

答弁 里見公園の2箇所ある展望台は、樹木が生い茂り景色が見えづらくなっているため、年々始まるには、見えやすいように剪定をする。

公園のトイレの改修について

◎トイレの洋式化

答弁 市内にある公園で洋式化でないトイレは75基ある。優先順位を付けて改修していく。

要望 年間数基しか改修できなければ、30年以上かかってしまう。それでは遅すぎます。高齢者幼児にも使いやすい公園整備を要望します。

堀之内緑地について

◎ベンチの設置

答弁 堀之内緑地北側の入り口の階段を少し登った平坦な場所に、3人掛けのベンチを置いたため、利用していただきたい。

図書館利用券のセキュリティ対策について

市民が図書館で自動貸出機で利用券を使い、本を借りた際に、利用券を置き忘れました。その利用券を使い、他人が5冊借りたことが判明。セキュリティ対策はどうなっているのか、聞きました。

◎現状と課題について

答弁 利用登録者は8万6千人。「利用券忘れ」は1日数件程度。カードリーダー上に乗せて、読み取らせるタイプの機器で、手元から離れることで忘れてしまう。

再質問 利用券を窓口で返却した際、口頭での確認のみ、それで良いのでしょうか。

答弁 図書館からの連絡と氏名、生年月日の口頭での確認で、ほぼ本人であることは確かである。しかし、確実な方法へ改善を図っていく。



◎対策について

答弁 市川駅南口図書館は、利用券をかざす方式の自動貸出機で、「利用券忘れ」が少ないので、更新の時に検討すること。他の利用者に支障のない範囲で、取り忘れ防止のアナウンスを少し大きくする。館内に「お忘れ物ありませんか」の掲示をしているが、もっと工夫をしていきたい。

要望 年間に老朽化により破損し、除籍した冊数は10年前と比べて3倍以上になっている。図書費は10年間で30%削減されている。市民の共有財産である図書館の図書が減少していることは看過できません。30周年を迎えることを機に改善を。



じゅんさい池の壊れたベンチ

4月は統一地方選挙

9日投票 県議予定候補 浅野ふみ子

23日投票 市議予定候補 清水みな子



毎週月曜日、市川駅北口の宣伝行動は、他候補とのせめぎ合いです。夜の開けない5時半から、朝のご挨拶をしています。「応援しています」「頑張っています」とい

う声もあります。ほとんどの方は駅改札口に急ぎます。私たちは、笑顔で候補者リーフ、議会報告、赤旗日曜版見本紙などを配布しています。頑張ります。よろしくお願いします。

域通貨の実証実験を進めようとしているからです。河南町の「カナちゃんコイン」は、令和2年度から導入されました。2年度は19歳〜64歳までの住民に3,000円分を配布。3年度は全住民に3,000円分を配布(郵送)。

住民の92%が使用したということ。市川市では、12月議会にデジタル地域通貨運用システム構築等委託料で6千万円の補正予算が提案されました。これは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用します。デジタル地域通貨の導入について、一般質問しました。

まず、5月〜7月まで実証実験を行います。幅広い世代から1万5千人(スマホが使える方1万5,000人、カード利用者4,500人)を選びます。プレミアムポイントを付け、行政ポイント(健康づくり、エコ活動)を付

《主な活動報告 12月》

☆12月11日 ジェンダーを考える集會に参加



「歴史と歌の歌詞からジェンダー問題を考える」と題して、シンガーソングライターの大熊啓さんによる歌とお話がありました。主催は、治

維法同盟女性部。大熊さんは、複数の合唱団の指揮・指導・うたごえ酒場のリーダー。作詞作曲も手がけ、ギターを抱えて全国を駆け回っている方です。歴史とその時代の様々な歌を歌いながら、ジェンダー問題は日本が世界的に遅れていることが改めて感じました。一緒に歌いながら、有意義な時間を過ごしました。

広島市、堺市、河南町を視察 市川市の施策の参考に デジタル地域通貨など



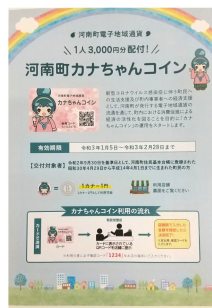
12月21日〜23日まで、広島市、大阪府堺市、河南町を視察しました。広島市は、中区にあるゴミ処理施設を視察。埋め立て地に建設。従来の清掃工場のイメージから脱却し、ガラス張りの吹き抜けで、市民が見学できるコースもあります。

河南町では、電子地域通貨「カナちゃんコイン」について、聞きました。市川市でも、デジタル地



堺市は、大浜公園内にある「大浜だいしんアリーナ」で、地元のパレーゾールチーム「堺ブレイザーズ」との連携について、話を聞き、体育館を視察。

▽市川市の地域通貨



4年度は現金でチャージすると30%の還元、河南町以外の方も利用可にと、次々とキャンペーンを張っています。すべて地方創生臨時交付金を使っています。今後は市の持ち出し分をどう抑えるかが課題と話していました。

市川市では、12月議会にデジタル地域通貨運用システム構築等委託料で6千万円の補正予算が提案されました。これは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用します。デジタル地域通貨の導入について、一般質問しました。

実証実験では、市内の幅広い世代が参加しますが、使えるお店は八幡地区に限定されます。しかも、行政ポイントの健康づくりとは、何を指すのか、答弁では、ウォーキングでもポイントが付くということですが、5千歩なのか、1万歩なのか、歩けない人はどうなるのか。エコ活動やボランティア活動とは、何を指すのか、何ポイント付くのか

無料法律相談

◎1月10日(火)
担当 藤盛夏子弁護士
◎2月14日(火)
担当 井出達希弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

まつたく決まっています。次の2月議会です。具体化して提案するということです。